

令和5年度第1回射水市学校給食運営協議会 議事概要

日 時 令和5年10月17日(水)

午後7時から午後8時まで

場 所 射水市役所401会議室

議事日程

- 1 開会

- 2 あいさつ

- 3 委嘱状交付・委員紹介

- 4 会長・副会長の選出

- 5 議事
 - (1) 令和4年度学校給食の実績について
 - (2) 学校給食の概要と現状について
 - (3) 献立例について

- 6 閉会

出席者

委員

学校関係者

筏井 朋美	市学校給食研究会	会長（大島小学校長）
藤田 美栄子	市学校給食研究会	副会長（中太閤山小学校長）
加藤 豊	市学校給食研究会	副会長（新湊南部中学校長）
嶋 明子	市学校給食研究会	理事（新湊中学校教諭）
石垣 李菜	市学校給食研究会	事務局（大島小学校教諭）
明嵐 さおり	市学校給食研究会	理事（小杉中学校栄養教諭）
澤井 沙織	市学校給食研究会	理事（学校給食センター、新湊小学校栄養教諭）
片境 真樹子	市幼稚園研究会	（七美幼稚園長）

学識経験者

竹苗 典子	市食生活改善推進協議会	会長
吉田 則枝	市食生活改善推進協議会	新湊支部長

P T A

浅村 豊	市P T A連絡協議会	会長（新湊南部中学校P T A監事）
漁 幸子	市P T A連絡協議会	副会長（小杉中学校P T A副会長）
寺崎 吉則	市P T A連絡協議会	副会長（大門中学校P T A副会長）
江尻 誠	市P T A連絡協議会	専門委員長（放生津小学校P T A副会長）

事務局

星野 泰志	学校教育課長
高井 哲生	学校教育課長補佐
藤岡 美乃里	学校給食センター所長
川淵 京子	学校教育係長
原田 貴史	学校給食センター主任

1 開会

2 あいさつ

3 委嘱状交付・委員紹介

任期は「射水市学校給食運営協議会規則」第3条の規定により、令和5年4月1日から令和7年3月31日までの2年間となる。

委員の皆様のご紹介並びに事務局の紹介は、資料の座席表、委員名簿で代える。

4 会長・副会長の選出

会長は大島小学校校長の筏井委員、副会長は射水市PTA連絡協議会会長であり新湊南部中学校監事の浅村委員が選出された。

5 議事

(1) 令和4年度学校給食費収支決算について

(2) 学校給食の概要と現状について

(3) 献立例について

資料1、資料2、資料3に基づき、事務局より説明を行った。

事務局の説明を受けて、以下のとおり意見交換を行った。

○ 意見交換概要

牛乳について

委員 他県で牛乳提供を廃止した市がある。牛乳なしの献立であれば、現行の給食費での給食提供は可能か。

事務局 牛乳はエネルギーも摂取でき、カルシウムの含有量も高い。乳製品はカルシウムの吸収率がとても良いことから、使い続けたい。

委員 牛乳を残す子どもは一定数おり、冬場が増える傾向がある。ただ、幼いころから牛乳に触れることも大切ではないか。配達の方とのふれ

あいも子どもたちの育ちにつながっている。

委員 学校には給食を食べず弁当を持参している子どももいるが、牛乳だけは飲んでいる。牛乳は欠かせないものなのではないか。

給食費の値上げについて

委員 値上げ額の幅は30円から50円ほどになるのか。

事務局 主食と牛乳の値上げ分だけで16円、17円あるので、それだけで20円はかかる見込みである。

委員 繰越金が各校で異なっている。繰越金がわずかの額の学校もあるので、給食費の値上げを遠からず視野に入れたいと思える。

地場産食材の使用について

委員 富山県産の魚は提供できているか。

事務局 提供できていない。提供したいが高価である。魚の切り身の提供は大体週1回程度であるが、安価な外国産の魚を使用している。

委員 学校給食では家庭での提供頻度が少ない食材の提供を続けてほしいという思いがある。保護者もコロナ禍を経験し、給食の大切さを感じたと思う。子ども達の成長に関わるものであるため、ある程度の給食費の値上げは致し方ないのではないか。

給食の提供量について

委員 給食の提供量は適切か。調理している量が多すぎるということはないか。

事務局 栄養士が1食あたりの栄養価等の計算を行った上で、提供すべき人数を掛けた総量分だけ調理しているので、余るということは基本的には

ない。

以上の結果、次回協議会では具体的な給食費の値上げ額を提案し、協議することとなった。